

みんなで乗りこえよう 4年 女子

「今をがんばって乗りこえよう。」そう思えるようになったのは最近のことです。テレビをつけると、ステイホームという言葉ばかりでいやな気持ちでした。

わたしは今年の3月、東京アクアティクスセンターで行われる予定だった水泳のジュニアオリンピックの出場が決まっていた。この大会に出ることがわたしの大きなゆめでした。東京オリンピックのきょう泳場で泳げるなんて、とても特別だからです。だけど中止になってしまいました。今まできつい練習もがんばってきたから、「どうして？」という気持ちとくやしさをいっばいでした。心の中にぽっかりとあなが空いてしまったように感じました。

中止のれんらくがあった次の日から、また練習をがんばるしかありませんでした。練習をして、次の大会に向けて気持ちを切りかえようと決めました。だけど、その練習さえもウイルス感せん予ぼうのため、できなくなってしまいました。わたしの大きなゆめだったジュニアオリンピックもなくなって、練習する場所もなくなってしまいました。

でも、わたしはもう一度立ち直ろうと決めて、お父さん、お母さんにおねがいしてプールを買ってもらい、家の前で練習をしました。学校も休校になって家で過ごすしかなかったからです。いつもだったら学校が休みだと少しうれしいけれど、まったくうれしくなかったです。

ステイホームという言葉は何回も聞いて、いやな気持ちだったけれど、世界中で新がたコロナウイルスの感せんが広がってしまっている今、苦しんでいる人や、大変な思いをしながら働いている人がたくさんいることを知りました。今は、ひとりひとりが少しずつがまんをして、これ以上感せんを広げないように行動することが大切だと思います。そして、わたしはウイルスに負けない心と体を作っていこうと思います。

ぼくは、ステイホームになった最初のころは、「学校を休める、やったー。」と  
思っていました。しかし、ステイホームも中頃に入ってくると、学校の勉強が  
おくれ  
てしまうのではないかと**思い始める**ようになりました。あと、外で歩く機会が少  
なくなつたので**運動不足**も気になり始めたり、学校が始まったときの**コミュニケー  
ション**がとれるか**不安**だったりもしました。最後の方になってくると**学校再開**のめど  
が立ってきて、**コミュニケーション**がとれるか**心配**でした。

ステイホーム中は、両親が仕事でいないときは、勉強で毎日ドリルをコツコツ  
やっていました。あとは生活のリズムをくずさないように心がけました。一人で家  
の**留守番**をしなくてはならなかったので、少し**不安**でした。戸締まりに気をつけま  
した。雨がふってきたときは、まどを閉めたりしました。昼は、お母さんの作った  
お**べん当**を家で食べていました。縄とびや、散歩で**運動不足**を**かい消**し、特に散歩  
は、家族と**最高2時間**位歩きました。とてもつかれました。けれど**気分**がすっきり  
しました。

ステイホーム中で困ったことは、マスクや**消毒液**がなくなったり、トイレットペ  
ーパーもネットのデマによって**買え**なくなったりしたことです。毎日のニュースを  
見ると、**コロナウイルス**のニュースをやっていました。不安でした。家族が外で働  
いているので、**コロナウイルス**にかんせんしてしまうのではないかと**心配**になりま  
した。

ステイホームが**終わ**って、学校が**再開**して、前のような生活に**すこ**しずつもどっ  
てきたような**気**がしました。しかし、**コロナウイルス**はまだ**終息**していないので、  
これからも、**かんせん防止**に**気**をつけながら生活していきたいと**おも**います。そして、  
学校生活では、**ソーシャルディスタンス**に**気**を付けたり、給食の前には**手**を洗った  
りして、これからの**学校生活**も**楽し**んでいきたいと**おも**います。

**コロナウイルス**は、怖いものですが、**学**んだこともあります。それは、**日本全体**  
のみんなが**協力**し合えたことです。

ぼくは、**コロナウイルス**が**早**く**終息**してほしいと**おも**います。

「コロナ」という感染する病気が世界ではやり出したとき、ぼくはニュースで「ステイホーム」という言葉を聞いた。「ステイホーム」とはどんな意味なのかと思いニュースを見ていたら、外出しないことで、家にいてほしいということだった。そのころから学校が休校になり、夏休みより長い期間、家で自主学習になった。両親に聞いても、こんなことは今までになかったと言っていた。学校が休みに入った一週間後、毎日通っていた水泳も休みになった。そのときには、公園にも遊びに行けず、外を歩くこともなくなった。

いつ学校に行けるのか、水泳も長い期間休むことがなかったので、早く外に出て思いっきり体を動かしたいと思っていたが、「ステイホーム」でいいこともたくさんあった。ゆっくりと勉強ができたので、理解できていないと思っていた所を調べて勉強した。今までは毎日習い事が夜まであったので、学校が休みの日も家にいる時間がなかったけど、「ステイホーム」の期間は、お父さんも家で仕事だったので、ゆっくりと家庭で遊ぶことができた。こんなにゆっくりすることが久しぶりだったので、本当に楽しかった。

初めての「ステイホーム」。学校や習い事が休みになって大変なこともあったけど、コロナという未知の病気から、自分や周りにいる人たちを守るために必要なことだと、気付くことができた。また学校や習い事が休みになるのは悲しいので、コロナが早く終息し、いつもの生活に戻ってほしいと思う。

3月から5月までの約3か月間のじしゆく期間は、私にとっても世の中にとっても初めての経験でした。そんな初めてのじしゆく中に私がどのように過ごしたかを書きたいと思います。

私はいろいろなことに挑戦しました。一つ目は、母とのパン作りです。とくに楽しかったことはパンをこねることです。もともとスライムなどが好きだったから印象に残っています。二つ目は、工作で紙ねんどを使ってねこやバラを作ったことです。母にバラを作ってプレゼントしたら喜んでくれてうれしかったです。最後は絵をかいたことです。絵の具でかいたりえんぴつでかいたりしていました。私は昔から絵をかくのが好きだったので、自由帳を三さつ使いきるくらい絵をかきました。えんぴつでかく絵はみんな人だけど、絵の具でかく絵は景色にしました。とくに海の絵がうまくかけたので、かべにかざっています。えんぴつでかいた絵は、買ってもらったペンでぬったあとにファイルにはさんでいます。

コロナウイルスはいやだけど、じしゆくして学校は大事だと思いました。なぜなら友達と遊ぶのも楽しいし、家では集中力も続かないけど、学校の教室なら集中力が続くからです。勉強はつらいけど、学校に行くと楽しいから学校に行きたいと思っていました。学校が始まると聞いたときはうれしかったです。

じしゆく中で印象に残っているのは、オンライン授業です。習い事でオンライン授業をして、不便なこともあったけど、楽しかったです。先生にかいた絵を見せたり、友達と話せてうれしかったです。ピアノのレッスンは音がききにくくて、できませんでした。でも毎日練習して、先生に会ったときはすごくほめられてうれしかったです。毎日練習したかいがありました。

じしゆく中はひまだけど、絵をかいたりひまをつぶすために新しいことに挑戦したりしたので、じしゆくはじしゆくで学べるものがあつたと思いました。いつもならほぼ毎日行っていた学校が何か月もないときみしいし、新型コロナウイルスはいやだし、家にいてもつかれるから、ふつうって大切だなと思いました。オンラインだと通信が切れることもあつて大変だったけど、忘れてももどれるからいいと思いました。いとこと遊べたのも楽しかったです。いとこは近くにいるから、毎週遊んでいました。

じしゆくは大変だったけど、いろいろ挑戦してたくさん学べたし、学校は大切だと気付けたから、じしゆくは必要だったと思います。